

# 日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所  
162-0805 東京都新宿区矢来町 65  
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175  
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

## 「恵みの年」でありますように

管区事務所総主事 司祭 エッサイ 矢萩新一

「主の恵みの年を告げるためである。」(ルカ4:19)

この聖句は「ナザレ宣言」と呼ばれる、イエスさまの宣教の目的が明確にされたルカによる福音書の言葉です。「主の恵みの年」とは、50年ごとの「ヨベルの年(英語ではジュビリー)」のことですが、その具体的な内容として、「貧しい人に福音を告げ知らせるために」「捕らわれている人に解放を」「目の見えない人に視力の回復を告げ」「圧迫されている人を自由にし」(ルカ4:18-19)と記されています。「解放」や「自由」は、どちらも「アフエシス」というギリシャ語ですが、他の箇所では「罪の赦し」とも訳されています。「赦し」と「自由」とでは、少し印象が異なりますが、罪からの解放と、束縛からの解放という両方の必要性を示す言葉として用いられています。つまり、イエスさまの宣教・使命は、「赦し・解放・自由」のためにあるということ、私たち自身の中にある心の貧しさや、何かに捕らわれている部分、隔たりや不自由のある部分を解放し、自由にしてくださるということです。

残念ながら私たちの周りでは、神さまから与えられた「いのち」が様々な弊害によって傷つけられ、片隅へと押しやられてしまう現実が起こっています。人間の欲によって歪められた社会が50年毎のヨベルの年に神さまから与えられた本来の姿に戻されていくこと、神さまのいのちに生きる生活が取り戻されていくことこそ、イエスさまの言われる「主の恵みの年を告げる」ということです。私たちの社会の様々な歪みや貧困、戦争が、人間の欲やエゴによってもたらされているとするならば、その罪が赦され、一人一人の内側から自由にされていく必要があります。イエスさまは自らの十字架へと向かう人生を通して、その死と復活によって、私たちに本当の赦しと解放と自由を示してくださいました。このことをいつも覚えるために、私たちは洗礼の恵みにあずかり、聖餐を繰り返しています。

「神さまの恵みの良い知らせ」を聞き、周りの人々に伝える2016年でありますように。今年もあらゆる「いのち」を尊び、歩む日本聖公会でありたいと願います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

## □会議・プログラム等予定

(2016年1月25日以降および  
前回報告以降追加分)

- 1月  
14日(木) 主事会小会議〔管区事務所〕  
28日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 2月  
1日(月) 礼拝委員会〔管区事務所〕  
5日(金) 法憲法規委員会〔管区事務所〕  
11日(木) ～12日(金) 各教区正義と平和担当者会〔管区事務所1階・バルナバホール〕  
12日(金) 正義と平和委員会〔管区事務所〕  
12日(金) 祈祷書改正準備委員会〔管区事務所〕  
12日(金) ～13日(土) 正義と平和・ジェンダープロジェクト〔東京教区/聖パウロ教会〕  
18日(木) 主事会小会議〔管区事務所〕  
19日(金) 原発問題プロジェクト運営委員会〔管区事務所〕  
23日(火) ～25日(木) 定期主教会〔ナザレ修女会〕  
25日(木) 日韓協働プロジェクト会議〔管区事務所〕  
26日(金) ～27日(土) 各教区ハラスメント防止・対策担当者会〔大宮聖愛教会〕  
27日(土) 正義と平和・憲法プロジェクト〔中部教区センター〕
- 3月  
2日(水) 聖公会・ルーテル教会協議会〔管区事務所〕  
3日(木) 女性の聖職に関わる特別委員会〔管区事務所〕  
8日(火) 収益事業委員会〔管区事務所〕  
8日(火) ～10日(木) 管区共通聖職試験  
9日(水) 聖公会・ローマカトリック合同委員会〔管区事務所〕  
9日(水) 正平・日韓協働プロジェクト合同会議〔管区事務所〕  
10日(木) 年金委員会および年金維持資金管理委員会〔管区事務所〕

(次頁へ続く)

# 聖公会首座主教会議に参加して

—緊張感みなぎる中での開催—

首座主教 ナタナエル 植松 誠

1月11～16日、英国のカンタベリー大聖堂で、世界の聖公会（アングリカン・コミュニオン）の首座主教会議が開かれた。首座主教会議は、アングリカン・コミュニオンの四つの「一致のための機関」の一つであり、2年に一度くらい開かれてきたが、前回2011年、アイルランドのダブリンでの首座主教会議は、アフリカ、アジアの首座主教の多くが欠席（ボイコット）し、それ以降5年間開かれていなかった。1998年のランベス会議あたりからクローズアップされた米国、カナダ聖公会での同性愛をめぐる問題で、今まで何回かの首座主教会議、全聖公会中央協議会では、アングリカン・コミュニオンの多くの管区が米・加聖公会を非難し、実際、アフリカのいくつかの管区

は両聖公会と関係を断絶した経緯があった。さらに、昨年6～7月の米国聖公会総会で、同性婚を認める決議（法規改正）をしたことから、アングリカン・コミュニオンの亀裂は一層深くなっていた。

今回の首座主教会議には、カンタベリー大主教ジャスティン・ウェルビー大主教の熱心な出席要請と、米国聖公会を離脱した人々が新たに組織した北米聖公会（ACNA）の首座主教のフォーリー・ビーチ師が招待されていたことから、前回欠席した管区からも首座主教が出席し、病気などで欠席の2首座主教以外、全首座主教が出席した。

今回の首座主教会議を前に、アングリカン・コミュニオンはこの会議で分裂の道に進むとの予想がいろいろなメディアで流され、実際、保守的な管区の集合体であるGAFCON (Global Anglican Future Conference) の首座主教の内、何人かは今回の首座主教会議で自分たちの主張が聞き入れられない場合は、会議の途中で退席する旨、事前に表明していた。そのような緊張感の中で首座主教会議は始まり、最初の日は半日、カンタベリー大聖堂での断食と黙想・祈りに当てられた。

首座主教会議ではアングリカン・コミュニオンがこれからも共に歩むことが確認されたが、米国聖公会及びカナダ聖公会のこれまでの一連のヒューマン・セクシュアリティ（人間の性）への取り組みが世界の聖公会の多くの管区において深い傷を与えたこと、また今回の米国聖公会の決定が、過去の首座主教会議、ACC決議、ウインザー・レポート、ランベス会議決議などを無視する一方的な進め方であったことが厳しく指摘された。そして、その結果、米国聖公会に対して、今後3年間、アングリカン・コミュニオンのすべての部門、会議、ネットワーク、委員会などには正式参加をしないようにという勧告と、カンタベリー大主教に対して、今後この問題について検討するための特別委員会を設けることが提案され、これらの勧告・提案は大多数の首座主教の賛成で可決された。

(前頁より)

- 11日(金) 東日本大震災5周年記念礼拝〔仙台基督教会〕
- 14日(月) 神学教理委員会〔管区事務所〕
- 16日(水) 財政主査会〔管区事務所〕
- 17日(木) 主事会議〔管区事務所〕
- 29日(火) 聖職試験委員会〔管区事務所〕
- 31日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

<関係諸団体等会議・他>

2016年

- 1月11日(月)～16日(土) 首座主教会議〔英国/カンタベリー〕
- 16日(土) 史談会〔管区事務所〕
- 27日(水) WCRP 新年研修会〔立正佼成会/東京〕
- 28日(木) 外キ協全国協議会〔在日本韓国YMCA/東京〕
- 29日(金) 日本聖公会社会福祉連盟東部幹事会〔管区事務所〕
- 29日(金) 外キ協全国キリスト者集会〔聖ヶ丘教会〕
- 2月9日(火) 日キ連定例学習会・常任委員会〔潮見〕
- 25日(木) NCC 役員会・常議員会〔東陽町〕

今回の首座主教会議では、多くの主教が、教会における、また聖書で定められている結婚とは男女間の忠実な、生涯にわたるものであるという点を強調し、そこから、米・加聖公会の同性婚の取り組みは正統信仰から離脱していると主張したが、首座主教の中にはそれらに真っ向から反対する者もあり、考え方や理解に大きな違いがあることも明らかとなった。

私は、今回の首座主教会議の結果に関しては大変複雑な、重く沈んだ気持ちである。世界の聖公会が分裂せずに、共に歩むことは確かに嬉しいことではあるが、その代償を見たときに、それがあまりに大きく、しかも正しいとは思えない。今回、キリストの愛の内に共に歩むというが、これらの勧告・提案の中に、性的マイノリティの人々(LGBT)への思いやりは少しも感じられない。この勧告が、米国、カナダだけではなく、世界のLGBTの人々に深い痛みと悲しみ、また教会に対する不信を与えることを私は危惧している。(実際、最終日の記者会見会場の外では、抗議する人々約40人がプラカードを掲げて、特にアフリカの首座主教たちへの抗議を叫んでいた。)

今回の首座主教会議の結果は、少しも問題解決にはなっていないし、これからも分裂の可能性は否定できない。米国聖公会がこの3年間で、先の総会の決議を取り下げることは考えられないし、カナダ聖公会では今年の総会で、米国聖公会と同

じような決議がされるかもしれない。また、英国聖公会内でも激しい議論が起きているからである。そもそも首座主教会議とは、どこかの管区の自治・自立(律)に、そこまで介入できる権限はないはずだし、(今回の首座主教会議の結果が、勧告とか提案とされているのはそのためであるが)、今後、アングリカン・コミュニオン(聖公会)の管区間でも、双方間の交流や対話をもっと充実していかななくてはならないであろう。

今回の首座主教会議では、上記の問題が大きなテーマではあったが、その他にも、環境、難民、イスラム、宗教が絡む暴力(テロ)、教会における子どもの保護、汚職(特にアフリカにおける)などについても協議された。また、次回ランベス会議を、2020年、カンタベリーで開催することを決めた。



Primates of the Anglican Communion at Canterbury Cathedral, 14 January 2016.

© 2016 Anglican Consultative Council ウェブサイトより

\*「聖公会首座主教会議コミュニケ(邦訳)」は、日本聖公会管区事務所のホームページからダウンロードできます。

## □常議員会

第61(定期)総会期第9回 1月19日(火)

1. 「原発と放射能に関する特別問題プロジェクト」の報告として「センターしんち」、「がん小屋仮設住宅」、「小名浜聖テモテ・ボランティアセンター」の将来についてなどの報告が行なわれた。
2. 1月18日に開催された「人権問題担当者会議」に関する報告として、今年の日

本聖公会の謝罪声明を議案として提出することが話し合われた。

3. 「日本聖公会年金」に関する報告として、自主管理・運営に向けての準備作業が行われている。それに伴い、パートタイマー事務員の募集をかける。
4. 「礼拝委員会」報告として、堅信前の初陪餐テキストが完成目前である。

5. 「祈祷書改正準備委員会」報告として、祈祷書改正委員会の設立を主教会に要請する。
6. 九州教区から提出された、宗教法人日本聖公会九州教区規則変更承認願いを審議し、これを承認した。
7. 東京教区から提出された、宗教法人日本聖公会東京教区規則変更承認願いを審議し、これを承認した。
8. 宣教協働者受け入れ資金に、大斎克己献金資金より1,000万円を繰り入れる件について審議し、これを承認した。なお、宣教協働者との覚書、教区移籍、日本聖公会での接手のことなど、今後のあり方について、雛形となるべきものが必要であるとの話し合いが行なわれた。

次回の常議員会 2016年4月14日(木)

#### □主事会議

第61(定期)総会期第8回 1月14日(木)  
 <主な報告・協議>

1. 立教女学院クリスチャンセンターからの難民援助への寄付金70,000円の管区への委託の要請を受けて、これに加え日本聖公会からも300,000円を寄付することを検討し、協議の結果、承認した。(緊急災害援助資金より支出)
2. 『管区事務所だより』で取り扱う記事の幅を広げることについて協議した。また、日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)より依頼のあった、「日本聖公会クワイヤーフェスティバル」の報告を『管区事務所だより』1月号へ掲載することにした。

次回以降会議予定:3月17日(木)

(次々回の開催に関しては次回に検討することとした)

#### □各教区

##### 東北

- ・教務所主事人事:2016年1月31日付 司祭ステパノ涌井康福 教務所主事の任を解く。2016年2月1日付 パウロ竹石和己 教務所主事を委嘱する。

##### 東京

- ・第126(定期)教区会 2016年3月19日(土)9時~17時 聖アンデレ主教座聖堂、聖アンデレホール

##### 神戸

- ・阪神・淡路大震災21周年記念礼拝 2016年1月17日(日)10時半 神戸聖ヨハネ教会

#### □神学校

##### 聖公会神学院

- ・2015年度卒業礼拝・聖公会神学院校友会総会 2016年2月29日(月)13時~ 聖公会神学院諸聖徒礼拝堂

##### ウイリアムス神学館

- ・2015年度卒業礼拝 2016年3月11日(金)11時~ 京都教区主教座聖堂(聖アグネス教会) 卒業予定者:テモテ遠藤洋介(神戸教区) 修業予定者:アンデレ江渡由直(京都教区)

#### □管区

- ・アメリカ聖公会 ERD ローバート・ラドケ氏来日 2016年2月13日(土)~17日(水) 東北:被災地視察/東京:首座主教と面談

†逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

インマヌエル古川潤児師 2016年1月11日(月) 逝去(84歳)

司祭 パウロ井上進次師(大阪) 2016年1月26日(火) 逝去(54歳) 通夜の祈り:1月28日(木) 葬送・告別式:1月29日(金) 大阪教区 川口基督教会

#### □訂正

- ・管区事務所だより第306号記載の「2015年教区選出常置委員」中で、大阪教区・常置委員長は、岩城 聰司祭でした。

#### 📖 出版物案内

『日本聖公会要覧 2013年-2015年』  
 2016年1月31日発行 価1000円(税込)  
 ご注文は管区事務所にお問い合わせいたします。

## ■報告

## 海外被災地への支援金送付、ほか

2015年12月16日付 立教女学院キリスト教センター：管区経由で難民援助のために70,000円寄付の委託を受け、協議の結果、特にシリア、中近東からのヨーロッパに向かう難民に向けてUs. (旧USPG) のスペシャル・アピールを經由させ、寄付することが適当であると決定した。

また、日本聖公会からも何らかの形で寄付することが好ましいとの提案があり、上記の寄付金に加えて300,000円を緊急災害支援資金から支出して、Us.を經由して送付することとした。

2016年2月13日～17日「アメリカ聖公会・救済と開発(Episcopal Relief & Development=ERD)」の最高経営責任者、ロバート・ラドケ氏が東北震災復興の進行状況見学のため来日の予定。訪問の概要は、仙台を拠点に仙台主教座聖堂と石巻、南三陸と新地の仮設住宅を見学、池住圭氏に部分的に参加していただく。さらに、東京で植松首座主教に面会する。トルハースト司祭はロバート・ラドケ氏来日のすべての日程に同行する。

(渉外主事 司祭 ポール・トルハースト)

## 《人 事》

## 東北

主教 ヨハネ加藤博道	2016年3月31日付	釜石神愛教会、新庄聖マルコ教会、仙台聖フランシス教会管理牧師の任を解く。
司祭 フランシス中山 茂	2016年3月31日付	八戸聖ルカ教会管理牧師の任を解く。
司祭 ステパノ涌井康福	2016年3月31日付	新庄聖マルコ教会協働の任を解く。
	2016年4月1日付	新庄聖マルコ教会、米沢聖ヨハネ教会管理牧師に任命する。
司祭 ステパノ越山哲也	2016年3月31日付	若松諸聖徒教会牧師の任を解く。
		米沢聖ヨハネ教会管理牧師の任を解く。
		郡山聖ペテロ聖パウロ教会、白河基督聖公会協働の任を解く。
	2016年4月1日付	八戸聖ルカ教会牧師に任命する。
		釜石神愛教会管理牧師に任命する。
司祭 ドミニコ李 贊熙 (大韓聖公会大田教区、宣教協働者)		
	2016年3月31日付	仙台基督教会副牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	仙台聖フランシス教会牧師に任命する。
		仙台基督教会協働を命じる。
司祭 ヨハネ八木正言 (東京教区・出向、宣教協働者)		
	2016年3月31日付	若松諸聖徒教会協働の任を解く。
	2016年4月1日付	若松諸聖徒教会管理牧師に任命する。
		米沢聖ヨハネ教会協働を命じる。
聖職候補生 パウロ渡部 拓	2016年4月1日付	聖ペテロ伝道所居住とする。

<信徒奉事者認可> (盛岡聖公会) (山形聖ペテロ教会) (米沢聖ヨハネ教会) <b>東京</b> 聖職候補生 ヨセフ太田信三 執事 ヨハネ塚田重太郎	2016年1月1日付 ペテロ阿部禧典、ルカ赤坂 徹 ミカエル八柳和夫、マタイ山崎 薫、サラ涌井則子 ヨハネ鍛冶迪雄、ヨハネ小貫晃義	
<b>横浜</b> 司祭 ジェローム村上守旦	2016年4月1日付	主教ローレンス三鍋裕のもとで、松戸聖パウロ教会および柏聖アンデレ教会において、嘱託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
<信徒奉事者認可> (林間聖バルナバ教会) <b>京都</b> アンデレ江渡由直 司祭 テモテ宮嶋 眞	2016年1月12日付 クリストファ小平基	
司祭 イザヤ浦地洪一(退)	2016年4月1日付	司祭テモテ宮嶋眞のもとで、聖光教会において、嘱託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
司祭 ヨハネ石塚秀司 主教 ステパノ高地 敬	2016年4月1日付 2016年3月31日付	聖アグネス教会の管理を委嘱する。 桑名エピファニー教会および四日市聖アンデレ教会管理の委嘱を解く。
司祭 サムエル門脇光禪	2016年3月31日付	伊勢聖マルコ教会管理の委嘱を解く。
司祭 ヤコブ岩田光正	2016年4月1日付	桑名エピファニー教会の管理を委嘱する。
司祭 ヤコブ岩田光正	2016年3月31日付	大津聖マリア教会牧師の任を解く。下鴨基督教会管理の委嘱を解く。
司祭 ヤコブ岩田光正	2016年4月1日付	伊勢聖マルコ教会牧師に任命する。四日市聖アンデレ教会の管理を委嘱する。
執事 アントニオ出口 崇	2016年3月31日付	桑名エピファニー教会および四日市聖アンデレ教会牧師補の任を解く。
執事 アントニオ出口 崇	2016年4月1日付	大津聖マリア教会および下鴨基督教会牧師補に任命する。
聖職候補生 アンデレ江渡由直	2016年4月1日付	桑名エピファニー教会管理牧師司祭サムエル門脇光禪のもとで勤務することを命じる。四日市聖アンデレ教会管理牧師司祭ヤコブ岩田光正のもとで勤務することを命じる。
司祭 マタイ出口 創	2016年4月1日付	大津聖マリア教会の管理を委嘱する。
司祭 マタイ古本靖久	2016年4月1日付	下鴨基督教会の管理を委嘱する。

司祭 パウロ北山和民	2016年3月31日付	初島聖十字教会および廣基督教会管理の委嘱を解く。
司祭 ベルナルド大川 誠	2016年3月31日付	高田基督教会牧師の任を解く。百済基督教会管理の委嘱を解く。
	2016年4月1日付	初島聖十字教会牧師に任命する。廣基督教会の管理を委嘱する。
司祭 ミカエル藤原健久	2016年4月1日付	高田基督教会の管理を委嘱する。
司祭 ヨハネ井田 泉	2016年4月1日付	百済基督教会の管理を委嘱する。
司祭 アンデレ小松幸男(退)	2016年4月1日付	主教ステパノ高地敬のもと、菰野聖マリア教会(伝道所)において、囑託司祭として勤務することを委嘱する。(任期1年)
<b>大阪</b>		
司祭 ペテロ齊藤 壹	2016年3月31日付	定年により退職とする。 大阪聖愛教会牧師および大阪聖三一教会牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	主教アンデレ磯晴久のもと、大阪聖三一教会における囑託司祭としての勤務、及び聖バルナバ病院チャプレン、博愛社こひつじ乳児保育園チャプレンを委嘱する。(任期1年)
主教 アンデレ磯 晴久	2016年3月31日付	守口復活教会管理牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	大阪聖三一教会管理牧師に任命する。
司祭 ペテロ岩城 聰	2016年3月31日付	東豊中聖ミカエル教会管理牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	聖ガブリエル教会管理牧師に任命する。
執事 フランチェスコ成岡宏晃	2016年3月31日付	東豊中聖ミカエル教会牧師補の任を解く。
	2016年4月1日付	プール学院への出向を命じ(中・高チャプレン)、大阪城南キリスト教会牧師補に任命する
司祭 ヤコブ松平 功	2016年3月31日付	桃山学院への出向(大学チャプレン)を解く。
	2016年4月1日付	守口復活教会牧師に任命する。
司祭 パウロ井上進次	2016年3月31日付	プール学院への出向(中・高チャプレン)、及び尼崎聖ステパノ教会牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	大阪聖愛教会牧師、及び大阪城南キリスト教会牧師に任命する。
司祭 ヨシユア原田光雄	2016年3月31日付	大阪城南キリスト教会牧師、及び聖ガブリエル教会牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	東豊中聖ミカエル教会牧師に任命する。
聖職候補生 ペテロ金山将司	2016年3月31日付	芦屋聖マルコ教会勤務の任を解く。
	2016年4月1日付	司祭施洗者ヨハネ山本眞の指導のもと、尼崎聖ステパノ教会勤務を命じる。
司祭 施洗者ヨハネ山本 眞	2016年3月31日付	尼崎聖ステパノ教会牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	尼崎聖ステパノ教会管理牧師に任命する。
司祭 ウイルソン ウォーレン	2016年3月31日付	大阪聖パウロ教会副牧師、及び川口基督教会

		における平日勤務、聖ガブリエル教会における主日勤務の任を解く。
	2016年4月1日付	芦屋聖マルコ教会牧師に任命する。
司祭 ダニエル山野上素充	2016年3月31日付	守口復活教会囑託司祭の任を解く。
司祭 テモテ宮嶋 眞	2016年4月1日付	桃山学院(大学チャプレン)に出向。派遣任期は3年1期とする。
<信徒奉事者認可>	2016年1月1日付	任期1年
(川口基督教会)		内海良輔、島崎聖子、社領共美、高橋明子、田中史、名出正、野上千春
(大阪聖ヨハネ教会)		興津健蔵、野知卓司
(大阪聖パウロ教会)		浅田通子、上野勝子
(大阪聖愛教会)		石井英隆、米虫克次、田中恵子、豊川雅章、松岡興二
(大阪聖三一教会)		高田須磨雄
(大阪聖アンデレ教会)		宇野哲夫、小野田芳大、北谷順一、田中久子
(富田林聖アグネス教会)		山本勝彦
(守口復活教会)		原田契
(石橋聖トマス教会)		服部喜代司、原楨寿子、牧口真理、山崎信
(東豊中聖ミカエル教会)		岩本眞記、岐邨正昭、工藤正路、山田護、米満司郎
(恵我之荘聖マタイ教会)		鈴木靖夫、中川裕之、春名英夫
(西宮聖ペテロ教会)		久保孝彦、倉戸ナオミ、山田緑、吉川礼子
(芦屋聖マルコ教会)		辻潤、寺内誠、長野紀子、錦織依子、野見山充、山本多津子、和田育子
<b>九州</b>		
司祭 キャサリン吉岡容子	2016年3月31日付	定年により退職とする。
	2016年4月1日付	宗像聖パウロ教会および八幡聖オーガスチン教会において囑託として勤務することを委嘱する(住居は宗像聖パウロ教会)。(任期1年)。
司祭 フランシス小林史明	2016年3月31日付	宗像聖パウロ教会牧師および八幡聖オーガスチン教会牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	宮崎聖三一教会牧師および延岡聖ステパノ教会協働司祭に任命する。
司祭 ヨハネ李 浩平	2016年3月31日付	延岡聖ステパノ教会協働司祭の任を解く。
	2016年4月1日付	延岡聖ステパノ教会牧師に任命する(住居は大分聖公会)。
司祭 ミカエル李 相寅	2016年3月31日付	厳原聖ヨハネ教会協働司祭の任を解く。
	2016年4月1日付	八幡聖オーガスチン教会管理牧師に任命する。
主教 ルカ武藤謙一	2016年4月1日付	宗像聖パウロ教会管理牧師に任命する。
<信徒奉事者認可>	任期:2016年度	
(福岡聖パウロ教会)		秋山献之、有村元伸、外池圭二、園木一男、吉鹿善郎、佐藤群
(小倉インマヌエル教会)		東美香子、岡村忠平、河原忍、櫻井隆一、平上千鶴子、ピーター・フリーボーン、石垣献、金野実加枝



(直方キリスト教会)	君原實
(福岡ベテル教会)	箕田絃子
(久留米聖公教会)	上野信雄、真木信行
(菊池黎明教会)	蒲池近江、高橋尚子
(熊本聖三一教会)	島卓郎
(佐世保復活教会)	辻裕子、丸田耕造
(鹿児島復活教会)	大内新子、岡積正子、島紀夫、安永千穂子、藤田啓子、矢野敬一郎

### 沖縄

司祭 ベネディクト高 英敦	2016年3月31日付	屋我地聖ルカ教会管理牧師の任を解く。
司祭 イザヤ金 汀洙	2016年4月1日付	屋我地聖ルカ教会管理牧師を命ずる。
司祭 グロリア西平妙子	2016年3月31日付	屋我地聖ルカ教会副牧師の任を解く。
	2016年4月1日付	宮古聖ヤコブ教会副牧師を命ずる。 南静園聖ミカエル教会、石垣キリスト教会協働 司祭を命ずる。

## 石川一雄さん・早智子さんのお話を聞き、狭山現地を見学

－日本聖公会狭山現地学習会（2016年1月19日実施）－

人権問題担当 司祭 大森明彦

学習会の前日は雪が積もり冷たい雨が降り、30分遅れで人権問題担当者会が始まった時、石川早智子さんから「狭山では雪が10センチ積もり、雪が解けるとは思えない。明日の学習会は予定通り来られますか」とお電話をいただいた。お心遣いに感謝し、16名の参加をお伝えした。



1月19日(火)、西部新宿線に乗り、現地に近づけば近づくほど雪国の景色。今回の現地学習会に参加した16名の中7名は聖公会神学院

からの参加だった。10時に狭山市駅西口に集まり、富士見集会所へ移動し、石川一雄さんが到着すると「石川一雄さん・早智子さんのお話と質疑」に入った。石川さんは前日寝込んでいたそうで体調がいま一つの様子だったが、2006年に始まった第3次再審請求が今年こそ実現することを石川さんは堅く信じ、宗教者の協力を熱く呼びかけられた。1月14日に誕生日を迎えられた石川さんは77歳になった。石川さんといつも行動を共にしている早智さんは結婚して今年20年になる。早智さんは徳島のご出身で、『徳島新聞』から取材を受けた記事を嬉しそうに見せてくださった。

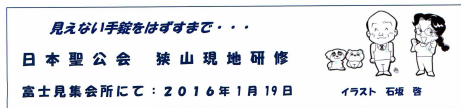
石川さんご夫妻と初めてお会いした参加者が8名いると知ると、前人権問題担当者の鈴木慰さんが東京高裁前のアピールで配るチラシに掲載されている「2010年に東京高検が証拠開示した石川さんの上申書」について補足解説してくださった。最後に、石川さんがホワイトボードに書

いた今日の短歌「再審も大詰め迎え第三次 司法の誤謬を質して勝利へ」の前に一同集まり記念写真を撮影した。午後のフィールドワークの終点石川さん宅で、それぞれに下の写真をいただいた。

人の世に熱あれ人間に光あれ



再審も終盤迎え吾命  
正義の連呼と生命線



ランチ休憩をはさみ、午後は部落解放同盟中央本部の安田聡さんの案内で現地見学フィールドワークに入った。安田さんの丁寧な解説を聞きながら、石川さんの自白と事件関係の証拠の発見場所に照らし合わせて現地見学をすると、矛盾だらけで、いかに滅茶苦茶な裁判が行われたかを初参加の人たちは実感したことだろう。



2000年の日本聖公会第52(定期)総会以来、「狭山事件の再審」、「狭山事件の全証拠の開示」を求めることは聖公会の課題であり今日に至るまで続けている。今回8名の初参加者を得たことは意味がある。狭山現地学習会を今後も尊重し、できれば人権問題担当者が狭山現地で案内や解説ができるように努力したい。

(写真は矢萩総主事撮影)

世界の聖公会の動向

カンタベリー大主教のクリスマス・メッセージ、ほか

渉外主事 司祭 ポール・トルハースト

○カンタベリー大主教のエキュメニカル・クリスマス・メッセージ

「羊飼いたちは、見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」(ルカ2:20)

羊飼いたちは神を見ると日常に戻る。人生を変えられ、いのちが与えられているというビジョ

ンによって召し出され、彼らは羊を残して、世界の秩序が示す方向などとは最もかけ離れたベツレヘムの混雑した狭い路地の中に、自分たちの行く道筋を見い出していく。そして彼らは恐らく、羊飼いととしての生活に戻っていく。

受肉のすべての神秘において、そのシンプルさは、毎年新たに私の中に生まれる。そのシンプルさは、荒れ果てた地で助けを求める群衆の戦争と苦しみを抱えるこの時代における、私たちの力であり、チャレンジである。

悪魔と海・絶望と飢餓の狭間にある彼らは、想像を絶する危険を介しながらも進んでゆく。パレスチナはそのいい例である。安全な場所ではなく、危険きわまりなく、今日の数百万人の人々と同様に、イエス・キリスト自身も不安を抱えた両親によって、安全な別の土地へと導かれた。

英国聖公会総会の開会式で、説教者のラニエロ・カンタラメッサ神父（ローマカトリック・教皇室）は、「世界の多くの地域では、カトリックの信徒だ、聖公会の信徒だ、ペンテコステ派の信徒だというだけでなく、単にクリスチャンだと言う理由で人々が殺され、教会が焼かれた。しかし彼らの目には、私たちはすでに一つである。だから、私たちの目にも神さまの目にも一つになるのではないか」と語ったことが記憶に残っている。

パリ、イラン・シリアの恐怖のまっただ中に、またそんなにも頻繁に支配を許してしまう恐れの中、私たちは受肉のシンプルさに呼び戻される。イエスご自身、地上の最も貧しく、最も打ちひしがれた人々とまったく行動を共にした。

今日の私たちの世界で、行き場を失っている人々は、私たちが一つとなり、ともに一人のみどり子をお与えになった神をあがめ、その贈り物のシンプルさと美しさを求めている。

わたしは、私たちの共通の努力で、平和を確立し、おびえる者を勇気づけ、心に傷を負った者を慰め、貧しい者を愛す、その中にこそ、貧困の中に生まれたキリストを新たに探し出し、私たちは、教会をお与えになった神さまのシンプルなみ業に再び包まれ、神さまは、確かに苦しみもお与えになったが、あらゆる聖霊の賜物による希望と力が与えられることを祈ります。

このクリスマスに、わたしは、みなさんと、みなさんの教会のため祈ります。そして、わたしとアングリカンコミュニオンのために、みなさんの祈りを求めます。

カンタベリー大主教 ジャスティン・ウェルビー  
クリスマス2015



### ○教会が人道的観点から難民に安全な経路を提供することに合意

プロテスタント教会とカトリック教会が協働で北アフリカや中東からの避難民に安全な移動手段を提供することでイタリア政府と合意した。多

くの難民は違法な手段で危険を冒して地中海を船で渡ることを余儀なくされていて、2015年一年間で3,700名の死者が出ている。教会がモロッコとレバノンに連絡事務所を設置し、航空券の提供、宿泊所の斡旋、難民受け入れ手続の支援、教育の機会提供、イタリア語研修の機会提供などを行なう。イタリア政府は人道的見地からイタリア国内にとどまることを条件としたビザを発給する。従って他のEU諸国への移動はできない。この手続きにより1月末には最初の難民が到着する予定である。

国連の国際移民デー(International Migrants Day)として取り決められ、世界中の教会が一致して支援することを表明した昨日このことがローマで発表された。

### ○欧州の難民問題—Us. の活動

Us.が支援しているアテネの聖公会チャプレン団は、アテネやギリシャに到着する難民に対する同情的かつ効果的な超教派による対応策を協議するために多数の教派と協働した。

難民が移動する場所では、教派の垣根を越えて教会の関係者が対応する。例えばギリシャの島々、すなわちアテネの広場やマケドニアとの国境近辺など。救世軍やギリシャの福音派等のマケドニアの人びとはボランティアを募って食料、衛生品などの生活必需品、子供用品、寝袋、雨具などを配布している。現地の教会関係者は自宅を難民に開放した。

ギリシャ正教の人道支援・支援団体、アポストリ(Apostoli)のようなより大規模の組織は、より規模の大きなプログラムを実施している。例えば食料品セット、テント、寝袋などを配布し、難民家族をアテネで受け入れる計画である。また、アポストリは救急医療や難民受け入れにも力を入れている。

難民支援のための人材に不足しているわけではなく、大切なことはどのプログラムがうまく実行されているか、また、それに対して継続的に予算化するかを判断することである。ギリシャのチャプレン団を経由して、Us.は最も必要として

いる難民のために最大限の効果をもたらしているプログラムを予算化することに重点を置いている。

2015年初頭から今までに715,704人がギリシャ沿岸に到着した。先月だけでも一日平均6,800人を受け入れた。今年一年でギリシャやイタリアへ向かった人たちの内、溺死した人数は3,000人以上である。シリアの内戦が継続する限り、また、イラクの衝突が続く限り人々は祖国を脱出し隣国に圧力が強まる。

#### ○インドではクリスマスを中止、パキスタンでは全面解禁

インド南部の町、シェナイ(Chennai)とその近郊の地域が雨期の豪雨により洪水が発生した。「多数の死者が出たことや多くの住民が家畜や現金を失ったことは、とても悲しいことです」と

#### □日本聖公会クワイヤーフェスティバル

##### のご協力・ご支援への御礼 □

主の平和

去る2015年11月14日、日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)主催による日本聖公会クワイヤーフェスティバルが立教学院諸聖徒礼拝堂にて開催され、日本国内の9つの聖歌隊に加え、大韓聖公会からの少年少女合唱団が参加し、それぞれに賛美の歌を捧げることが出来ました。

初めての開催ではありましたが、無事に終了することが出来ましたのも、ご協力・ご支援をいただきました多くの方々のお力添えがあつてのことと、感謝いたします。

また、会場にてお捧げ下さいました貴い献金に関しましては、東日本大震災の悲劇を忘れないため、またBSAによる青少年育成の働きのために用いさせていただきます。この誌面をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

Dyyasirvadamマドラス教区主教、CSI (Church of South India) 管区の首座主教が語った。町の人にとっては暫くの間は厳しい時になり、ことに貧困にある人には厳しい。首座主教は「クリスマスが貧困にある人や社会的弱者に大きな喜びをもたらす季節である」と語った。それ故被災者のことを考慮して通常のクリスマスの行事を控えることを提案した。

キャロル礼拝やそれに準ずる行事は慎み、その代りに適切な被災者支援活動を教会が行うべきだと助言した。

一方パキスタンでは、今までは地震災害の影響やクリスチャンに対するテロ行為でクリスマスを楽しむことができなかったが、今日は災害復興を達成し、町の治安が非常によくなったので、教会は今までは慎んでいたクリスマスの行事を再開する。

先ずは略儀ながら、御礼方々ご報告申し上げますと共に、今後ともBSAのためにご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本聖徒アンデレ同胞会 (BSA)  
会長 砂田 郁郎



全体合唱・会場の様子 (写真提供・足立征三郎氏)